

◆企画幹あいさつ (p.1)

◆学校教育スタッフより (pp.4-5)

◆総務課スタッフより (pp.2-3)

◆各市町の取組～江津市～ (pp.5-6)

初任者研修に係る1学期学校訪問を終えて **学校教育スタッフ企画幹 山岡 修子**

令和2年度の浜田教育事務所学校訪問指導の一つに初任者研修に係る訪問指導があります。この訪問指導は、初任者研修の実施状況の確認と初任者研修対象者の授業力の向上に資することを目的として行っています。



5月中旬から8月上旬にかけて、学校教育スタッフが浜田管内の初任者研修対象者配置校(23校)を訪問させていただきました。ご多用の中、丁寧な準備や対応をしていただきありがとうございました。

この訪問では、26名の初任者研修対象の先生方と個々に面談をさせていただいたり、管理職の先生方と情報交換をさせていただいたりしました。令和2年度のスタートは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、学校が臨時休業の対応に追われたり、集合型の初任者研修が予定通りには実施されなかったりする状況でした。そのような中で、初任の先生方は強い緊張や大きな不安を感じながら、教職の第一歩を踏み出されたことと思います。

面談の中で、初任の先生方の様々な声をお聴きすることができました。一部を紹介します。

- ・教材研究で帰りが遅くなる時があるが、授業がうまくいき、生徒の反応があると、とてもやりがいを感じる。
- ・示範研で、他の先生方の授業を見せてもらうことがとても勉強になる。
- ・相担の先生から教材やプリントを提供してもらい支えていただいている。
- ・単元など、先を見通した授業づくりをしないといけないと思うが、なかなかできない。目の前の授業をどうするかで精一杯。
- ・全てが初めてのことで、見通しがもてない不安がある。
- ・他の初任の先生方に早く会って、研修がしたい。

- ・まわりの先生方が自分を気にかけてくださり、声をかけてくださることがありがたい。
- ・職員室での相談や何気ない会話などから、授業規律、声かけ、教材研究等、多くのことを学ばせていただいている。

この他にもたくさんの声を聴かせていただきました。ご勤務される学校の環境や子どもたちの様子はそれぞれに異なりますが、初任の先生方がそれぞれの場所で、誠実に、そして真摯に職務に向き合っておられる様子をひしひしと感じました。

また、情報交換をさせていただいた管理職の先生方からは、「初任者はまわりの先生方に相談しながら勤めており、よくやっている」「何事にも一生懸命でがんばりすぎるので心配している」「校外での初任者研修の場がなくなり、改めて学校を離れての研修の必要性を感じる」「この学校で、しっかりと初任者を育てていきたい」「20年後、30年後の島根の教育を担う人になってほしい」などのお話を聴かせていただきました。

今回の訪問をとおり、管理職の先生方をはじめ、校内の全職員で初任の先生方を支えておられる温かい雰囲気を感じました。まわりの先生方のサポートが初任の先生方の安心感につながっていることは言うまでもありません。令和2年度の終わりに、それぞれの場所でごんばっておられる初任の先生方が、「初任校がこの学校でよかった」と一年を振り返っていただけることを切に願っています。

2学期以降、初任者研修に係る2回目の学校訪問指導を予定しています。そこでは、研究授業と研究協議、管理職や校内指導員の先生方との面談などがあります。初任者研修における授業づくりのねらいは「児童生徒を主体とし、本時の目標に迫る授業ができる」です。授業づくりについての相談等、学校教育スタッフに遠慮なくお声がけいただければと思います。どうぞよろしく申し上げます。

総務課スタッフから

私のモットー

総務課長 岩本 哲

この4月に浜田教育事務所に着任しました。簡単なプロフィールですが、名前の「哲」は「あきら」と読みます。長浜小や浜田三中は部活や初恋？など、思い出の詰まった我が母校です。進学、就職と都会で過ごしていましたが、30歳の節目に石見地区採用者として故郷で新たな職を得て現在に至っております。総務事務の仕事は初めてで、脇の甘い自分に務まるのかと年度当初から正直大変に不安でしたが、上部所長ほか事務所のスタッフをはじめ関わる周囲の方々に支えてもらいながら、何とか5ヶ月が過ぎようとしています。



そんな私ですが、どこに異動しても風通しのよい職場の環境を一番大事にしたいと思っています。分からないことは何でも気軽に相談ができ、皆で問題を共有しながら解決に向けて知恵を出し合える、そんなモノが言いやすく、外野に抜けそうになるボールをお互いに声かけあってカバーできるような「Team 総務課」になっていけたらという思いで、総務課のスタッフにはいつも思いつく限りの昭和感満載のギャグを振り舞いながら雰囲気づくりに努めているところです。

もう一つ、大事にしたいと思っているのは、顔の見える関係づくりです。これまでも仕事に関係する内外の部署等との連絡調整はできる限り直接訪問し、お互いに顔を見て話すことにより交渉や調整が円滑に進むよう心掛けてきました。コロナ禍においてはリモートやテレビ会議が主流となってきましたが、個人的には折に触れて学校事務職員の皆様ともできるだけ直接お話しする機会をもちたいと思っています。

教育事務所の仕事は、市町教育委員会との連携や学校の協力なしには完結しないことを強く感じています。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策と同様、こまめな「換気」を心がけ、お互いに顔の見える、風通しのよい関係を保ちながら、私たち総務課も市町教育委員会や学校と一緒に石見の教育を支えていきたいと思っています。皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

学校事務職員は大きな存在である

総務課 企画員 石川 大介

浜田教育事務所で2年目を迎えました。学校現場では経験できない様々な業務を担う中で、いろいろなことを感じています。その一つが「学校事務職員は大きな存在である」ということです。

学校事務職員の皆様は、日々、子どもたちの学びを支える業務に携わっておられます。その中で、教育事務所と大きく関わるのは、主に教職員の給与です。つまり、生活に直結している大事な業務です。浜田管内には、小中学校75校、約1200人の教職員の方がいます。浜田教育事務所では、学校から提出される書類を審査していますが、その前に、各学校の事務職員（事務担当者）が審査をしています。丁寧で精度の高い審査が重要となりますが、こちらに提出される書類を確認すると、事務職員一人一人の丁寧さ、精度の高さがより伝わってきます。これは、一人一人の職員に寄り添った事務を心掛けているからこそだと思いますが、それに加え、事務グループでの実践の効果でもあると実感しています。事務リーダー、事務主幹を中心に、お互いをより刺激し合い、高め合うことで、人材育成、資質向上、事務処理の精度の向上につながっています。このように、教職員一人一人の生活（給与）に関わる業務に携わっている学校事務職員は大きな存在だと改めて感じます。



日々の中で、皆様の大きな存在を感じながら、子どもの学びを支える教職員の皆様が安心して仕事ができるよう精一杯務めていきたいと思っています。

『当たり前』を疑うこと 総務課 主任 奥村 陽香

表題は、私が公務員として働き始めてからいつも心に留めている言葉です。行政職員として仕事をしていく上では、たくさんの「決まり」を理解する必要があります。学校事務職員の皆様の仕事を見ても、文書管理、予算会計、給与支払、旅費事務など多くのことが、法律、条例、規則、要綱といった形で事細かに定められており、それらの規定には必ずそのように定められた理由、趣旨があります。

このことを頭では分かっているつもりでも、「前任者も周りの職員もこうしているから『当たり前』」、「この職場ではこうするのが『当たり前』」と、私自身その意味を深く考えずに仕事を終えてしまうことがあります。前例踏襲が悪いというわけではなく、未経験の業務に携わる際には前任者からの引継ぎを基に進めていくこととなり、判断に悩む場面では前例の蓄積が役立つことも少なくありません。しかしながら、単に前任者の仕事をなぞるだけではなく、「いつもこのように処理しているけれど、なぜだろう?」「請求書にこの事項を書かなければならない理由はなんだろう?」と日頃から自分の中で問題提起し、それについて調べたり、事務グループで話し合ったりすることが、知識や思考力として蓄積され、予想外の事案に遭遇した際の応用力や長期的な視点での事務の効率化につながっていきます。また、誤った事務処理や改善を必要とする箇所を発見する契機となるかもしれません。

学校現場において、高度な事務処理能力や専門知識をもつ学校事務職員への期待が高まっています。教育事務所でも引き続き皆様の業務をサポートさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願います。



つながりを大切に 総務課 主事 原 光平

この度、浜田教育事務所に赴任して参りました。

日々教えていただく中で特に印象に残っていることは「常に引継ぎを意識して仕事をする:年度当初の担当者変更の際だけでなく、普段から自分の仕事の進め方、仕事をしていく中での気付きなどをまとめておき、課内で共有することによって、年次有給休暇や出張などで不在にしているときであっても、全員が同じレベルで対処できるようにしておくこと」「自分のペースではなく、他者の都合を考えて仕事をする:自らに課せられた期限を守るのは当然のこととして、その後、上席者や本庁の方々の決裁、承認が必要な仕事も数多くあるため、それに要する手間、時間を考慮して余裕をもって仕事をする」との2点があります。

学校訪問の際に共同学校事務室設立について、興味深い話を聞くことができました。共同学校事務室設立の目的の一部として、事務職員の能力の平準化、相互チェックによる業務の進捗状況の把握があり、突き詰めていくと上記2点を目指していることがわかりました。立場は違っても同じように意識して仕事に取り組まれていることを再認識することができました。

仕事は独断的ではなく、人と人とのつながりを常に意識して行うことが大切であると考えさせられた5ヶ月間でした。学校現場で働く方々が不利益を被ることがないように、いつまでもこの気持ちを忘れることなく、浜田教育事務所員をはじめ、学校事務職員、市町教育委員会及び本庁関係各課の皆様と協力して仕事に取り組んでいきます。



学校教育スタッフから

生徒指導の三機能を生かした授業づくり

学校教育スタッフ 指導主事(兼)生徒指導専任主事 土田 真治

生徒指導は、子どもたちの「自己指導能力」を育むことが究極の目標であると言えます。自己指導能力とは、「その時、その場で、どのような行動が適切であるか、自分で考えて、決めて、実行する能力」のことを指します。この自己指導能力を育むためには、日々の教育活動において、「児童生徒に自己存在感を与えること」「共感的な人間関係を育成すること」「自己決定の場を与え自己の可能性の開発を援助すること」の3点に留意することが求められ、これらは「生徒指導の三機能」と呼ばれます。新学習指導要領においては、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められています。基盤として、教職員と児童生徒、そして、児童生徒相互の人間関係が良好であることが重要です。そのためには、授業の中で生徒指導の三機能を生かすことが欠かせません。「集団づくりを基盤として授業づくりをする」「授業を通してよりよい集団づくりをする」というように、学習指導と生徒指導を一体と捉え、相互に関連付けながら充実を図ることが大切です。以下、学習指導の中に生徒指導の三機能を取り入れた例をお示しします。ぜひ、2学期からの授業改善の参考にいただければと思います。



児童生徒に自己存在感を与えること(例)

- ・つぶやきを積極的に取り上げて、発表の機会を与えるようにする。
- ・授業の中で「よくできたね。」「がんばっているね。」など、承認や称賛、励ましをする。
- ・児童生徒の実態を把握し、授業のどの場面でもどの児童生徒を生かすか、見通しをもって指導する。

共感的な人間関係を育成すること(例)

- ・友達の意見にうなずいたり、拍手したりするなど、反応を返すように促す。
- ・相互評価を取り入れ、お互いのよさを認め合うことができるようにする。
- ・児童生徒の発言をつなげ、集団での学び合いとなるようにする。

自己決定の場を与え自己の可能性の開発を援助すること(例)

- ・児童生徒が一人で調べたり、考えたりする時間を十分に与える。
- ・児童生徒が自分の考えをみんなの前で発表する場を設ける。
- ・多様な考えを生むような発問を工夫する。



子どもの思いを大事にした特別支援教育

学校教育スタッフ 指導主事 大橋 里沙

切れ目ない支援体制整備充実事業では、各管内の実態に応じた研修を実施しています。昨年度は、島根大学教職大学院の原広治先生をお招きし、『子どもを支えるということ/保護者を支えるということ』と題してご講演いただきました。日々試行錯誤しながら子どもたちや保護者と関わっている中、今一度立ち止まって、子どもとらえや保護者との連携について考える機会となりました。特別な支援を必要とする子どもたちのみならず、全ての子どもたちに大事にしたいと思える内容でした。原先生のお話で心に残ったことをお伝えします。



- 支援には、「助ける(help)」と「支える(support)」の二つの意味がある。
 - ・ 支援という言葉は、支援する側の気づきから始まるが、それは、支援を期待する相手の思いに沿うべきである。
 - ・ 個々の思いに身と心をはせ、相手の思いを探るところから考え始めることである。
 - ・ 「support」とは、こちらからではなく、相手の意を受けて行うものである。
- 目には見えない「心」とつきあう重要性。「できなさ」を軸として人間関係を成立させていないか。
- 障がいの特性に応じて、【何を、どのようにするのか】 + 【何のために】するのかが大事。
- 個に応じた指導ではなく、類に応じた指導(「類」としてまとめられた子ども理解の上での対応)になっていないか。子どもの教育的ニーズを把握し、それに応える。
- 言動の底(中核)には、心(思い、気持ち、願い、感情…)があり、その「心」とつきあうことで「心」を育てる。

子どもたちが生き生きと学校生活を送り、学び、暮らして行くことができるよう、子どもの思いを大事に、皆さんと特別支援教育について考えていきたいと思えます。

★令和2年度 特別支援教育研修会のご案内★

講師：西嶋 雅樹 先生(島根大学教育学部附属教師教育研究センター)

期日：令和3年1月24日(日) 場所：浜田合同庁舎2F大会議室 詳細は後日ご案内する予定です。

幼児期は、人格形成の基礎を培う大切な時期

学校教育スタッフ 指導主事 竹岡 七重

今年度より、幼児教育の担当をしています。

『根を養えば樹は自ずから育つ(東井義雄)』これは、私の好きな言葉です。幼児教育は、本当にこの言葉通り、生涯にわたる人格形成の基礎『根』を培う大変重要な時期です。この時期に身に付けた力は、その後の子どもたちの育ちと学びをしっかり支え、小学校以降の豊かな心や確かな学力などに確実に繋がっていきます。



幼児教育センター浜田教育事務所スタッフ

村田淳子 久佐日佐志 竹岡七重



今回の小学校学習指導要領改訂のポイントの一つ

に、幼小連携・接続があります。小学校でのスタート・カリキュラムを教育課程の中に位置付けて、スムーズな接続を学校全体として考えていくことが大切です。そのために必要な教職員の資質として、次のようなものがあります。

- ・幼児期と児童期の教育課程・指導方法等の違い、子どもの発達や学びの現状等を正しく理解する力
- ・幼児期の教育を担当する教職員は、児童期の教育を見通す力
- ・児童期の教育を担当する教職員は、幼児期の教育を見通す力
- ・上記を踏まえ、今の教育活動を構成・実践する力
- ・他の教職員や保護者と連携・接続のために必要な関係を構築する力

このような力を付けていくために、是非、一緒に研修していきましょう！また、幼児教育の重要性や本県の取組について理解していただくために、『島根県幼児教育振興プログラム』が策定されました。是非、ご一読ください。子どもたちや先生方の笑顔を目指して取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

各市町の取組から ～江津市～

コロナ禍で

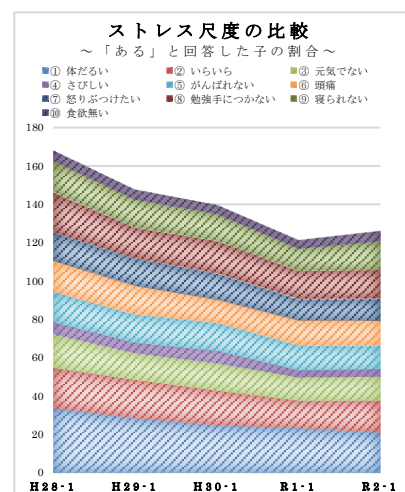
江津市教育委員会 派遣指導主事 岡田 和明

江津市では平成 24 年度より、いじめの未然防止と早期発見・対応のために、市内 4 中学校に相談箱を設置し、小学校 5 年生以上に年 2 回アンケートを実施してきました。このアンケートはいじめを中心とした内容ですが、ストレスに関しても 10 項目聞いています。(例：体がだるい イライラする 元気がでない 等)

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いつもとは違った始まりとなりました。子どもたちにいつも以上のストレスがあるのではないかと心配がありましたので、上記アンケートのストレスの質問項目についてここ 5 年の同時期の数値と比較してみました。(10 項目の質問に「あてはまる」と回答した割合。縦軸が割合積算 横軸が年度)

全体でみるとストレスを感じている子の割合が昨年度よりやや高くなっていますが、大幅に高くなっていることはなく、ここ 5 年では昨年度に次ぐ低い値でした。小中別でみると、小学生は昨年度より高くなっているものの、中学生はここ 5 年で一番低い値でした。小学生の方で、臨時休業等の影響でストレスを感じている子が増えているかもしれません。子どもの入れ替わりがあるので、中学生については 5 年生の時から今年度までの様子も同集団で見ましたが、ストレスを感じている子の割合が急激に高まった様子はありませんでした。

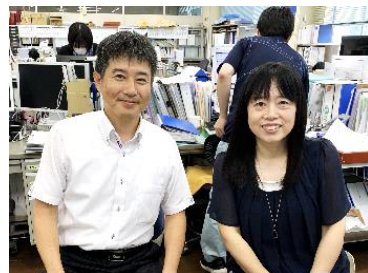
この結果は大まかな傾向で学校や個によってももちろん違います。しかし、昨年末から現在に至る期間、これまでとは違った新たな生活様式＋我慢が求められる中、家庭や地域ではもちろん、学校で子どもとしっかり向き合い、今だからこそできることをいろいろ工夫してやっていただいたことが、この結果につながっているのではないかと思います。先はまだまだ不透明です。学校現場を支えるために、このようなデータも活用しながら、今後とも取り組んでいきたいと思ひます。



「学力育成」に係る江津市の取組について

江津市教育委員会 派遣指導主事 春木二美
派遣指導主事 橋井泰治

江津市における学力育成の取組の一部を紹介します。



1. 授業改善に関わる学校訪問指導

(1) 「授業改善アクションプラン」に基づく学校訪問

- 各学校で策定した授業改善プランに基づいた公開授業後、全員参加での研修会にて協議
- 全ての教科・領域を対象に授業公開後、個別(グループも可)に協議

(2) 外国語・外国語活動(個別訪問)

- 小学校外国語・外国語活動、中学校英語科の担当教員対象に授業公開後、協議

(3) フォローアッププラス(個別訪問)

- 経験年数の少ない先生方を対象に授業や学級経営等について支援

各校で、新学習指導要領での各教科・領域等の見方・考え方を大切にしながら「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善や、指導と評価の一体化を目指した「めあて」「振り返り」の充実等を日々推進しております。子どもたちの資質能力の育成に向け、今後も継続的な支援を行いたいと考えています。

2. キャリア・パスポートの推進

江津市では、小中校区ごとに「子どもたちに身に付けさせたい力」を共有し、発達の段階に応じた系統的な指導を行い、ふるさと・キャリア教育を推進しています。「キャリア・パスポート」(子どもたち自身が学校、家庭、地域との関わりの中で、自分の学びを振り返って自覚し、なりたい自分に向かって見通しをもち、意欲を高めていけるようにするもの)も校区ごとに見直しが進められ、年度始めには、全学年で「夢シート」が作成されました。シートには子どもたちの「なりたい自分」のイメージとともに担任の先生や保護者からの温かいコメントが添えられています。

「キャリア・パスポート」を活用して、子どもたちの主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなげていただけることを願っています。

江津市ふるさと・キャリア教育「子どもたちに身に付けさせたい力」一覧					
目標の達成力	各教科における授業	学習活動の取組(説明)	学習活動の取組(説明)	学習活動の取組(説明)	小学校段階
人間関係形成	他者の個性を理解する力	実社会や地域の生活実態をその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	実社会や地域の生活実態をその人の考えや気持ちを受け止める力。	小学校段階
社会形成能力	他者の個性を受け止める力	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	小学校段階
つなげる力	チームワーク	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	小学校段階
自己理解	自分の役割の理解	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	小学校段階
自己管理能力	自分の役割の理解	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	小学校段階
見つめる力	主体的行動	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	小学校段階
課題対応能力	課題の理解・選択・取組	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	小学校段階
やりぬく力	計画立案	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	小学校段階
キャリアプラン	キャリアプラン	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	小学校段階
つながる力	つながる力	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	自分や他者の考えや気持ちをその人の考えや気持ちを受け止める力。	小学校段階

5年生の自分 名前: _____

好きなもの・こと: **友達と遊ぶこと**

得意なこと: **サッカー、習字、読書**

なりたい自分(職業、どんな職業になりたいか): **自分の力で、みんなを笑顔にする自分になりたいです。**

学校や地域のためにがんばりたいこと: **みんなを笑顔にするためにがんばりたいです。**

先生から: **笑顔はみんなを幸せにするね、さんが笑顔でいると、笑顔がみんなを笑顔にするよってほしいね。**

GO!GOTSU! 山陰の「新電力特選」

江津市キャリア・パスポート
江津市では「夢シート」「ふるさとシート・行事シート」「振り返りシート」の3種類の様式をキャリア・パスポートとして蓄積していきます。